

## 私立高校受験に成功するために

—下野新聞「林明夫塾長の必勝受験塾中3生指南」より—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 下野新聞社から依頼があり、10月の第2日曜日から隔週で月に2回、「林明夫塾長の必勝受験塾中3生指南」というコラムを担当させていただいています。明日27日、日曜日の紙面にも私が書かせていただいた文章が載りますので、ぜひお読みいただきたいと思います。
3. 今日は、その内容を踏まえて「勉強の仕方」についてお話させていただきます。テーマは「私立高校入試に合格するための受験態勢づくり」です。前回13日の同コラムでは「一心不乱に受験勉強を」というテーマで、一心不乱に勉強することの大切さについて書かせていただきました。明日は、私立高校に合格を果たすための勉強の仕方です。
4. 私立高校に合格するには、ポイントが2つあります。1つは、躰(しつけ)を身に付けて入試に臨むことです。
5. 私は、躰には2つの中身があると思います。1つは「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」で、もう1つは「敬語表現を含む言葉遣い」です。美しい立居振舞いの中には、服装や髪型も入るといいます。試験会場内だけでなく、校門に入るところから出るまで観察されているのです。ですから、服装や髪型が乱れている人は、合格に支障をきたすかもしれません。受験生としてふさわしくない下着が見えているような服装をしていると、合格が少し遠のくことも考えられます。また、茶髪にしたり、ごく稀でしょうがピアスをしたりしている人は、合格が縁遠くなるでしょう。服装や髪型にはくれぐれも注意していただきたいと思います。
6. また、入学試験を受験している学校の先生方にあまりにも乱暴な言葉遣いをしたり、ないとは思いますが受験生同士でけんかをしたりしてしまうと、合格することは難しいと思います。試験会場では乱暴な言葉遣いをせずに、できれば「です・ます調」で話すようにしましょう。特に、面接試験のある人は「です・ます調」の敬語表現を十分活用しながら話すようにしたほうがよいと思います。
7. 立居振舞いで注意が必要なのは、次のようなことです。試験途中にもかかわらず、解答が早く書けたから、あるいは答えがわからないからといって、机にうつぶせになって寝てしまう方が時々あります。このような方は、合格の可能性が高くないと思ったほうがよいでしょう。たとえ眠くなっても、膝(ひざ)をつねりながら頑張っていることが大事であると思います。以上が躰に関することです。

8. 私立高校合格のポイントの 2 つめは、各高校の過去問を解くことです。過去問とは、一度出題された問題のことをいいます。公立高校とは異なり、私立高校入試では高校ごとに全く違う問題が出題されます。ですから、自分の受験する私立高校の過去問を解くことはとても大事です。
9. 過去問は何年分ぐらい解けばよいかといえば、最低でも 3 年分、できれば 5 年～ 10 年分です。1 度解いて終わりにせず、繰り返し繰り返し勉強してください。(大学受験生は大学入試センター試験の過去問 15 年分を 5 回以上繰り返し勉強することを私はお勧めしています。)
10. なぜこのようなことをお話するのかというと、私立高校の場合は問題を作成する先生が限られていて、毎年同じような傾向の問題になることが多いからです。全く同じ問題が出題されることはありませんが、傾向は高校ごとにかなり決まっていますので、問題に慣れる意味でも最低 3 年分、できれば 5 年～ 10 年分の過去問を解いてください。
11. 解くときに大事なことは、時間制限を設けることです。私立高校の入試問題の中には難しい問題がたくさん含まれています。時間をかければ解ける問題は多いのですが、時間が短いと解けない問題もあるのです。ですから、過去問を制限時間を設けて解き、箸にも棒にも掛からない問題つまり極端に難しい問題は思い切って避け、易しい問題や自分の力でできる問題だけを確実に解いていく訓練をすることも大事であると思います。
12. この訓練がされていないと、本番の試験でも最後の問題まで解き終えることができなくなります。「過去問を解く」「そのときは制限時間を守ってやり、いくらやっても時間内にできない難しい問題には初めから手を付けず、易しい問題や自分の力でできる問題を集中的に確実に解く」練習を十分に積んでおくことをお勧めします。
13. 同じ問題を何回ぐらい解けばよいかというと、1 回だけではなく最低 2 回は解いたほうがよいと思います。3 回以上、できれば 5 ～ 6 回解くと、その高校の入試問題を知り尽くしたことになりますから、本番でもよい点数が取れると思います。
14. 高校によっては記述試験を採用しているところもありますが、マークシートを使って答える出題形式のところもあります。その高校を受験する方は、マークシートで答える練習もしておいたほうがよいと思います。本番でいきなりマークシートというのでは、なかなかなじめないからです。
15. 今日は、明日 27 日発行の下野新聞に私が書かせていただいた文章をわかりやすく説明させていただきました。ぜひ参考にさせていただければと思います。

－ 2013 年 4 月 14 日加筆・訂正 林明夫－